



## ～ほけんだより～



# 嘔吐した時の登園のめやす

No.105

R6年6月

封戸保育園

登園の目安は子ども自身の健康回復と、他の子どもへの感染の可能性を考えて決められおり、厚生労働省からガイドラインが出されています。健康回復が不十分な状態で登園すると病気の回復が遅れたり、新たな感染症にかかりやすくなったりします。保育園ではなるべくゆったりと家庭で過ごせるように、と日々心掛けてはいますが、子どもにとって集団生活は疲れたり、体力を消耗したりするものでもあります。また、感染力が強い段階で登園すれば他の子どもへの感染を引き起こすことにもなります。

先日発熱・下痢・咳・鼻水、鼻づまりで体調をくずしている時の登園の目安をお知らせしましたが、今回は嘔吐について以下にまとめていますのでご理解をお願いします。主治医の診察を受けた場合は主治医の指示に従ってください。

### ～嘔吐しているとき・嘔吐した後はこのように判断しています～

#### ★保育園をお休みする目安

- × 24時間以内に2回以上吐いたとき
- × 嘔吐と平熱より高い体温のとき
- × 食欲がなく、水分も欲しがらないとき
- × 機嫌が悪く、元気がない、顔色が悪くぐったりしているなどの症状がみられるとき



#### ★こんな時に保育園から保護者へ連絡しています

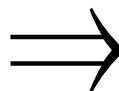
- 2回以上の嘔吐があり、水を飲んでも吐くとき
- 元気がなく機嫌・顔色が悪いとき
- 吐き気が止まらないとき
- 腹痛または下痢を伴う嘔吐があるとき

#### ★すぐに病院に行った方が良いと思われるとき

- 嘔吐の回数が多く、顔色が悪いとき
- 元気がなく、ぐったりしているとき
- 血液やコーヒーのかすのようなものを吐いたとき
- 嘔吐の他に、複数回の下痢、血液の混じった便、発熱、腹痛等の諸症状がみられるとき
- 脱水症状と思われるとき

#### ★登園できる目安

- ◎ 嘔吐から24時間経過している
- ◎ 食事をしても嘔吐や吐き気がない
- ◎ 通常の食事がとれ食欲がある（最低半分の量）



#### ～脱水症状のチェックポイント～

- ・下痢と一緒に嘔吐
- ・水分が摂れない
- ・唇や舌が乾いている
- ・尿が半日以上出ない
- ・尿の量が少なく、色が濃い
- ・目が落ちくぼんで見える
- ・皮膚の張りが弱い



つまり・・・「**丸1日以上嘔吐がなく、食事をいつもの半分以上食べられて、食べた後も腹痛もなく、気持ち悪いとも言わない**」のが登園できる目安です

お仕事をしている保護者の方にとっては連続で会社を休むことはとても大変です。また、子どもの様子によっては登園や受診などの判断に迷うことも多いですが、長い目でみると「子どもの様子がいつもと違うな」と感じた時に無理をさせず、ご家庭でゆっくり安静にして過ごすことが元気になる一番の近道です。体調が悪い時に家庭で過ごすことが難しい子どもたちのために、豊後高田市では高田中央病院で「**病児保育**」(感染症にかかっている時や発熱などの症状がある時でも保育可能)、花いろで「**病後児保育**」(回復期にほぼマンツーマンで保育が受けられる)が利用できます。子どもの年齢やその時の状態にあった生活ができるように**子どもの体調を第一**に、考えてあげられるといいですね。気になる事がある時はかかりつけ医に、また保育園でもご相談ください。